

まさにバトル！ 雪合戦に初参加（天栄村レジーナの森）



會津若松建設事務所 祭倶楽部「やってみっ会」活動体験記

Vol. 4



市川君が敵のフラッグをゲット！



負けじと福島君もフラッグをゲット！
転んだ訳ではありません。



向こう側が「やってみっ会」



2日目。向こう側が「やってみっ会」



初日の参加者。



2日目の参加者。

スポーツ雪合戦東日本大会2010

2010,01,23,・24

なんでもそうですが、
やってみないと本当の中身を知ることはできません。
雪合戦もその一つ。
こんなに、熱く燃えるスポーツだとは知りませんでした。
ルールは簡単。
3セットマッチで、2セットを取った方が勝ち。
敵のフラッグを取るか、
タイムアップ時に残っていた選手の多い方が勝ち。
試合時間は1セット3分間で、7人で戦います。
もちろん、雪玉を当てられた選手はコート外に退場になります。
自陣とセンターにあるシェルターと呼ばれる壁に身を隠し、
敵が投げる雪玉を交わしながら、適地に攻め入ります。
瀧本さんが考えた戦術を駆使し、初日は見事2勝を上げます。
2日目の決勝トーナメントでは、
岩手県から参加のチームに敗れたものの、
初参加で見事Best 8の成績を収めました。
子供から女性まで、冬を楽しむスポーツとして、
会津でも定着させたいものです。

我がチームのフラッグを作成していただいた、
伊木さんと齋藤さんに、感謝、感謝です。



雪玉は、
専用機材
で作ります。

この資料に関する問い合わせ
企画調査課 唐橋 薫
電話 0242 - 29 - 5455